



庄原自治振興区だより

第 172 号 令和 3 年 2 月 19 日 発行

〒727-0013

庄原市西本町二丁目 17 番 15 号

TEL/FAX

(0824) 72 - 3777



大黒上自治会

今年は大雪の中での とんど焼！



『いざなみカード(な・み・か)』の 申込みは お済みですか？

令和3年3月19日(消印有効)までに申込みをすると、

10,000 円分のポイントが付きます。

申込用紙(緑色の封筒)をなくした場合は、
再度送っていただけます。

問い合わせは、庄原市役所 企画振興部 商工観光課

☎ 0824-73-1178 までお願いします。

**早めに
申込んでね！**



「な・み・か」デザイン

1 月役員会報告

(1 月 26 日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 自治振興センター改修スケジュールについて
 - ・工事予定・・・・・・・・・・着手：令和 3 年 10 月 ～ 完了：令和 5 年 3 月(工期変更予定あり)
 - ・その他・・・・・・・・・・事務室移転：令和 3 年 9 月中、研修室利用中断：令和 3 年 8 月末(予定)
- (2) 令和 2 年度防犯研修会について・・・・・・・・・・コロナ禍により今年度は中止とする。
- (3) 令和 3 年度主催事業日程について(R3 年 1 月 26 日総合運動公園にて調整済)
 - ・第 14 回区民 G・ゴルフ大会 ➡ R3 年 6 月 6 日(日)、第 15 回区民マラソン ➡ R3 年 10 月 16 日(土)
 - ・第 14 回活動報告・作品展 ➡ R3 年 11 月 7 日(日)、第 14 回のろし祭り ➡ R3 年 11 月 23 日(祝)
- (4) 自治会活動報告・・・・・・・・・・川手中：三浦自治会長、次回は川手下自治会

とんど焼





～ いにしへの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.10



シリーズふるさと歴史文化散策 中世 3 後編

《 中世の庄原地方 》 日本史区分で、平安時代末期～戦国時代までの約 400 年間で中世と呼び、中世の庄原地方には荘園・永江荘がありました。『庄原雑録』の中に、応永 8(1401)年建仁寺から沖家への文書に「備後国永江荘為請名並古城堀田事」と記載されていること、昭和 17 年刊行の『国史辞典』建仁寺領の項目(P687)には、焼失をまぬがれた「建仁寺領諸国庄園目録」に「備後永江荘地頭職」の記載があり、領家は建仁寺(京都市東山区)であったことが判ります。

隣接する地毘荘との境界は戸郷川で、備後国最大の地毘荘地頭は山内首藤氏で、通資(みちすけ)の代になって鎌倉からこの地に移り、北端の部山(しとみやま、高野町)を拠点とし、数年後南部の本郷町に移り、ここを本拠に近郷に勢力を伸ばしていきます。

北朝年号文和 5(1356)年、地毘荘に接する川手町に、平等寺を建て祈願所にしたことで、山内首藤氏が建仁寺領である永江荘の押領(自然崇敬・素朴な祖霊信仰で支配)を進めていることがわかります。永江荘の史上初登場は、応安 7(1374)年のことです。

南北朝の動乱期、山内首藤氏は一貫して北朝(幕府)側に付き、その戦功により永江荘の領主収入の半分以上が認められます。また戦国時代の明應 2(1493)年、守護から出兵を要請する書状に永江荘の地名があり、これらのことから永江荘は、15 世紀末には山内首藤氏の支配下に入っていたと推測されます。応仁の乱に始まる戦国時代は下克上の時代で、支配者層にとっては暗く厳しい時代でしたが、庶民層にとっては農業技術が向上して工業が起これ、市として取引の場が開設されて民衆文芸が育ち、人生の可能性を求められる一揆の時代でもあります。

『庄原雑録』に、地頭が大仙山の下に棧敷を設けて市を見物したこと、定期塩市が設けられ根元地区で近在の者による商売が始まり、街並みが始まった旨の記録があり、戦国時代の後段になると、永江荘にも尾道方面や出雲方面から馬で物資が運ばれ、広島方面からも西城川を利用した舟運で荷物が集まり、定期市が開かれ海産物・農産物・生活用品が売買され、やがて市街地に発展していった事が伺われ、その場所は、荘内耕地を避けて荘内中心の広い台地であったと考えられます。永江荘は、地域の中心を西城川が東西に流れ、ここを中心に農耕地が開けていることから、農耕の妨げとならない適地は、現在の中本町一帯が該当します。

地名については、地形・風物をもって表しているものが多いことから、地元豪族武士「庄原氏」の姓によるとする説、この区画を荘(庄)中心の原⇒庄原と呼ぶようになったとする説、塩を取引した台地の原⇒庄原に変化した、等の諸説がありますが、いずれも根拠に乏しいのが実情です。

余談になりますが、山内首藤家は毛利家に帰属した結果、関ヶ原の合戦に敗れた毛利氏に従って長州萩に移動、4,700 石の重臣として明治維新を迎えました。一方、山内一族の山内一豊は、徳川家康に帰属したことで、土佐 24 万石の大名として明治維新を迎えています。人生色々といったところでしょうか。



山内首藤 就通の供養碑(平等寺境内明治 30 年移設)

予告編！ 次回は「郷土の歴史から消えた？庄原奎之介」を紹介します。お楽しみに・・・。

《 文・構成 庄原自治振興区歴史文化継承委員会 》

★クリスマスプレゼント★

今年はコロナ過の影響により、一年を通じて自治振興区の行事、各団体の行事、大黒東においてもほとんどの行事が中止となり、何か物足りなさといえますか社会全体が冷めた状態でした。

このような状況ではありましたが、ささやかでも何か楽しんでもらえたらという思いで、夏には南区合同で子供達に綿菓子をプレゼントしました。また 12 月 23 日には大黒東子供会として、全子供 12 名にクリスマスプレゼントをしました。

通常でしたら、集まってゲームなどして楽しんだほうが良かったかもしれませんが、今年はこういう状況でしたので、1 軒ずつ渡しました。次回からは集まって楽しめたらいいですね。

— 大黒東自治会 —



本町相扶園と防災訓練！

令和 2 年 11 月 27 日（金）午後 2 時から例年通り本町相扶園で防災訓練を行いました。例年なら避難誘導、消火訓練、緊急蘇生訓練、車いす使用方法と行うのですが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり建物内には入らず、避難誘導だけになりました。

庄原消防署も午前中に七塚で火事が発生したため来られず、消火訓練、緊急蘇生訓練も中止となりました。

来年はすべての行事ができるといいですね。

— 裁判所通り自治会 —



感謝の気持ちを込めて

食育カレンダー・花鉢配布！

永末小学校では、今年も各地区自治会長様をはじめ、活動などでお世話になった地域の方々に食育カレンダーとパンジーの花鉢を配布しました。

食育カレンダーは、6 年生が総合的な学習の時間に「食」をテーマに栽培活動の様子や自分たちが作ったお弁当などの写真を使って作成しました。一人一人、コメントやレイアウトを工夫し、今年も素敵な食育カレンダーになりました。また、パンジーの花鉢は、美化委員会の子供たちが植えたものです。

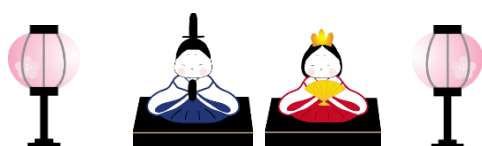
お世話になった感謝の気持ちを書いたメッセージを添えてお渡ししました。皆さん、喜んで受け取っていただき、子供たちは達成感をもつとともに、とてもうれしい気持ちになりました。

— 永末小学校 —



3月の振興区主催行事予定

9 日(火)	理事総務企画室合同会議	13:30～
16 日(火)	環境美化防犯パトロール	9:00～
	(石丸・柳原・西県住・大歳県住の各自治会長)	
23 日(火)	役員会	13:30～
毎週 1 回	青少協防犯パトロール	16:30～



編集後記

今年度は、新型コロナ感染拡大に翻弄され続けた 1 年となり、本区主要事業は軒並みに中止、各自治会行事の殆どが中止となり、当編集委員会においても原稿集めに奔走した一年でした。

紙面を埋めるため、庄原の歴史文化を紹介するコーナーを設け、連載は 2 月で 10 回を数えるまでになり、歴史文化継承委員さんには感謝しかありません。

連載の初めは、皆さんに読んで戴けるか不安でしたが、資料の問い合わせ、連載全紙面の提供希望、歴史文化資料集購入など、ホッとする出来事も有り、ヨカッタ、ヨカッタ です！

〇 記